

ASEAN 保険会議 (AIC) 年次会合に参加

～準会員として論議に参画し ASEAN 各国の保険業界関係者との関係を強化～

一般社団法人 日本損害保険協会(会長：白川 儀一)では、2022年12月6日から8日にタイのバンコクで開催された ASEAN 保険会議 (ASEAN Insurance Council: AIC) 年次会合 (※) に参加しました。

当協会は、2018年にAICで初めて、ASEAN域外で唯一の準会員 (affiliated member) となり、ASEAN各国の官・民保険関係者との関係強化、アジア損保市場の課題調査、損保市場の健全な発展に役立つ情報提供を目的として論議に参画しています。

年次会合では、当協会からAICの保険教育委員会 (AIEC) の場でプレゼンテーションを行い、50周年を迎えたISJを通じたアジア損保市場の健全な発展のための支援・交流の取組みを紹介するとともに、情報交換制度を含む保険金支払適正化や保険詐欺対策に関するベスト・プラクティスの共有を呼びかけました。

保険詐欺対策に対する各協会の関心は高く、年次会合の最終日に開催されている官民合同会議では、保険協会がメンバーとなっているAICから、ASEAN保険監督官会議 (ASEAN Insurance Regulators' Meeting: AIRM) に対して、保険詐欺防止のための情報交換を容易にするための規制緩和が要望されました。

また、年次会合への参加時等に、AICと当協会との今後の協力関係について意見交換を行っていますが、これを受けて、AICのワナンディ事務局長から、当協会と会員会社宛てに、より一層の関係強化を望むメッセージが寄せられました。

なお、バンコク滞在中には、タイ損保協会 (TGIA) と協力してISJの同窓会を開催し、タイのISJ卒業生との交流を深めました。

2023年は「日本ASEAN友好協力50周年」を迎えることから、当協会では、AICを通してASEAN各国の保険市場の健全な発展に有益な情報を提供し、関係を深めてまいります。

※ASEAN 保険会議とは

- ASEAN加盟10か国の保険協会をメンバーとする非政府機関です。1978年にASEAN加盟国の民間保険業界間の協力促進を目的として設立されました。
- 強制自動車賠償責任保険の越境自動車付保対応、保険専門教育向上、自然災害への対策等、域内の保険市場の発展、市場間の協力促進のための取組みを行っています。
- ASEAN 保険監督官会議 (ASEAN Insurance Regulators' Meeting: AIRM) と同時開催され、会期中に開催されるAIC・AIRM合同の全体会議は、民から官に対する報告、要望・提言が行われる場となっています。
- 事務局はインドネシアのジャカルタにあります。